

留学体験記

文学部英語英米文学科 田上 和由

2月

Super Bowl



アメリカで大人気のスポーツの一つと言えば、アメフトを外すことはできないでしょう。プロ・アメリカンフットボール界で最も大きな試合が、毎年1月下旬から、2月上旬の間に開催されるこの Super Bowl で、NFL (National Football League) と AFL (American Football League) の優勝チームの間で争われる試合です。アメリカでは Super Bowl は一大イベントなので、ホームパーティーをしながら大勢でワイワイしながら見るのが楽しみになっています。県立大学からの留学生三人は ESL の時にお世話になった Tony さんのお家におじゃましました。試合の開始時刻近くになると、招待された人たちがそれぞれに料理を持ち合って集まってきました。試合が始まるとみんな大はしゃぎで見ていました。アメフトの試合は3時間を超えるのがふつうで、非常に長い印象を持ったのを覚えています。



Career Fitness Fair

MSU-Billings では年に数回 Career Fitness Fair が開催されています。これは、日本でいう企業説明会のようなもので、地元や周辺の企業がキャンパス内に設けられた会場で、それぞれのブースを持ち、やってきた生徒に対して自社の説明をするというものでした。生徒と企業の人との距離が非常に近く、より詳しい説明を直に聞くことができるので、生徒も企業をより身近に感じられているようでした。

Yellowstone Trip

18～20日の間に International Studies Club の活動で真冬の Yellowstone 国立公園に行きました。夏の Yellowstone とは違い、どこも大雪に覆われていて夏とは違った表情を



見ることができた旅でした。Billings を出発してから4時間、ようやく West Yellowstone に到着した時にはあたりは真っ暗闇でした。翌日は朝から公園内のクルーズに出発。Snowcoach という大型の雪道専用車に乗り込み、Firehole Falls や Old Faithful を含めた、たくさんの間欠泉などの公園内の観光ポイントをまわりました。途中でバッファローやシカなどの動物



を目にすることができました (特にバッファローは頻繁に目撃することがあり、車の真横を集団で移動していく場面もありました!)。その晩は、宿泊先の Holiday Inn 近くの広場で手作りのスケートリンクとスロープでのソリ、飲み物・お菓子のサービスなどがあっていたので参加することになりました。そりは小さな子ども達に交じって楽しかったです。



最終日はホテルからすぐの Grizzly & Wolf Discovery Center
で熊やオオカミの観察をして、お土産などの買い物を済ませた後、
ホテルに戻り、Billings への帰路につきました。



(Feb. 26~ Mar. 6: Spring Break)

Bozeman のお話…

2月26日から3月6日までの間、MSU-BはSpring Breakだったので、Belgradeという町（Bozemanまで車で15分ほど）から来ている友達の家におじゃますることになりました。BillingsからBelgradeまでは車で2時間半ほど。長かった…(涙)
途中で変わればよかったのですが、冬のハイウェイだったということもあってずっと運転してもらって、横でうとうと。友達の家にお世話になっているうちに、Bozemanと古い鉱山の町のButteに行く機会がありました。Bozemanのダウンタウンはヨーロッパ調の建物が残る町で、とてもこじやれた町だなぁという印象を持ちました。いたるところに、好奇心をそそる店がたくさんあり、一週間あつ



てもまだまだ見足りないほどでした。Butteは古い鉱山の町で、中でも銅の生産で栄え、Copper Kingと呼ばれる銅で成功を収めた人の豪邸もいまだに残っています（内装がすべて銅で裝飾された部屋もあるそうです！）。採掘場に人を下すために使われていた巨大なシャフトなども見れて、自分の地元を思い出させて



くれる光景でした。またButteには町のいたるところにMicro Brewerと呼ばれる小さなビールの蒸留所がたくさんあり、僕も友達と彼の知り合いに連れて行ってもらいました。一つの蒸留所でもちがった種類のビールを試すことができます。試す価値絶対あります（笑）。Butteはアイルランドからの移民が開拓した町で、毎年3月17日のSt. Patrick's Day（アイルランドのキリスト教の聖人を祝う日）では町中が緑一色に染められます。機会があればぜひ行ってみてください！



3月

Charity for Earthquake



未曾有の大災害があった、この月ほど人の温かみを感じたことはなかったと思います。震災後、学校の友達・先生その他たくさんの人たちから、「家族は大丈夫か?」、「日本なら必ず立ち直れるよ」といった温かい言葉をたくさんもらいました。大変な状況に直面している人を気にかける気持ちはどこに行っても同じなんだと思われた出来事でした。被災した



日本のために何かできることはないかと思い、学校にいる日本人の生徒が中心になって募金活動から始めることにしました。もってきた箱を加工して募金箱を作って学校内の色々な場所に設置したり、学外にもBillingsに住んでいる日本人の人たちに協力してもらったりして募金箱を置かせてもらいました。



募金箱を置く以外にも、チャリティーイベントとして参加自由で主に絵・習字を書いてもらい、作ってもらったものをこの月の終わりにあった International Food Fair で売り出し、売上金は復興向けの募金と寄付したりしました。また、Billings に住んでいる日本人やその家族の方たちと一緒に、チャリティー活動としてショッピングセンターの入り口付近で手作りのお菓子やお土産などを販売しました。たくさんの方が立ち止まって、いろいろなものをたくさん買っていただきました。



International Food Fair



Welcome!!

留学生が中心となって計画・準備。前日と当日に食堂のキッチンを開借りしながら準備、本番に備えました。当日は寮に住んでいる生徒や学校の職員の他に、町からもお客さんがやって来ていて大盛況でした。日本ブースでは、日本食の他に Charity で皆に作ってもらった作品



China



Korea

を横で売り出しました。ヒリングスに住んでいる日本人の方とそのご家族も参加されて、寄付金を集めるために自分たちで作った作品などを販売していらっしゃいました。全売り上げの内、参加者の同意で数パーセントを日本赤十字に寄付させていただきました。



Saudi Arabia



Vietnam



India



Japan



4月

Good-bye Party



この日はこの Semester でピリングスを離れる留学生のためにパーティーが開かれました。韓国、中国、サウジアラビア、ベトナム、ドイツからの留学生をはじめ、International Studies Office のスタッフや留学生のお世話をしてく



くれた学生みんなが参加して大賑わいでした。Office から留学生にプレゼントを贈ってくれたり、みんな思い思いに写真を撮ったり、思い出話に花を咲かせたりして楽しんでいました。

Easter

Final (期末試験) の直前には Mini Spring Break という一週間足らずの休みの期間があって、Final に向けての勉強や、寮が Final の後すぐにしまってしまうので引越しの準備にあてたりしている人もいました。この週の日曜日がちょうどイースターだったので、数日前に友達と卵に色づけしたり、絵をかいたりしてイースターの日曜日の朝に準備した卵を隠して誰が多く見つけられるか競い合っていました。イースターは「復活祭」とよく訳されるように、キリスト教の祭典の一つでイエス・キリストの復活を祝うものです。卵に色づけをするのは、卵が生命や復活を象徴するものであることから昔からそれが受け継がれてきたとされています。



Student Awards (Annual Leadership Recognition Program)



MSU-Billings には一年の最後にその年に活躍したり、大きな貢献を果たしたりした生徒や職員を表彰する Annual Leadership Recognition Program と呼ばれるものがあり、今年の高藪さんが Outstanding Member of an Organization Award を受賞！他にもサウジアラビアとオーストラリアからの友達も受賞していました。